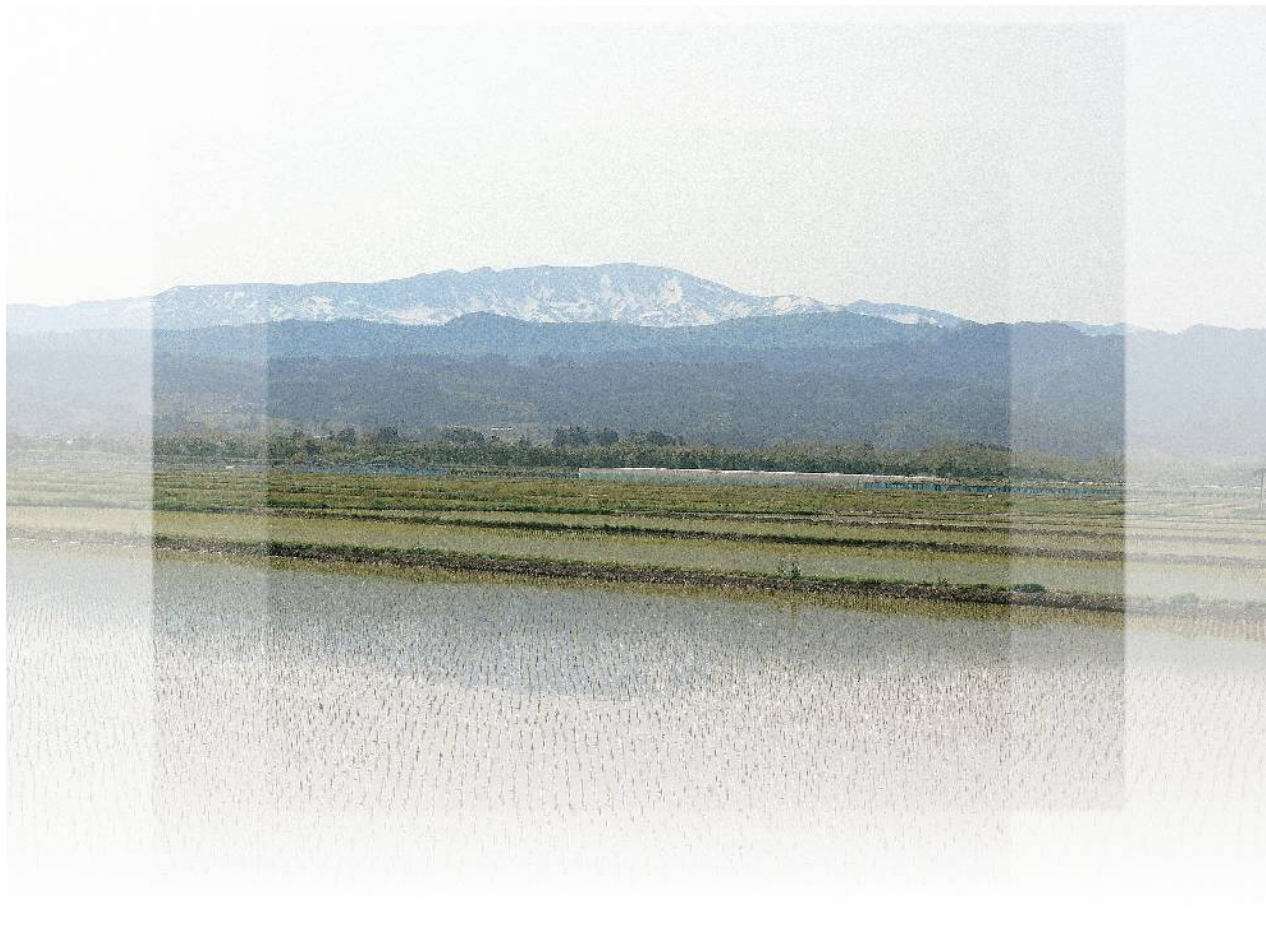

JA庄内たがわのご案内



2020





■愛称は「JA」です

正式には「農業協同組合」といい、農業に従事する人たちの協同組合です。日本の農業協同組合（Japan Agricultural Co-Operatives）の頭文字をとったものです。

■JAを構成する人々

① 正組合員：農家など

総代会での議決権や役員の選挙権を行使することなどにより、JA運営に参画することができる

② 准組合員：地域の人々

農家でなくてもJAに出資すればJAを利用できる

■協同組合とはこのような組織です

	協 同 組 合	株 式 会 社
出資者は	利用を前提に出資し、組合を作る	利用を意識せず、配当を期待して出資する
経営者は	利用したい組合員が自ら経営に当たり、必要に応じ組合員以外の役員への委任、職員の採用をする	出資の有無とは関わりなく委任される
利用者は	出資者、経営者と同一	出資者、経営者とは別
利 益 は	経営内部における留保 利用者にメリットを還元する	経営内部における留保 出資者に還元する
議決権は	正組合員単位・1人1票	株式数（出資額）単位

■全国規模で事業を展開

単独のJAだけでは事業を完結できない事業を遂行するため、あるいはスケールメリットを生かすために、JAは全国段階に連合組織を作っています。そしてこれらの連合組織とともに「JAグループ」として全国規模で事業を展開しています。





■ J A 庄内たがわの現況（令和2年3月31日現在）

① 組合員数 （単位：人）

正組合員数		准組合員数		合計
個人	法人	個人	その他	
11,803	81	6,146	899	18,929

② 役員数 （単位：人）

理 事		監 事		合計
常勤	非常勤	常勤	非常勤	
4	20	1	5	30

③ 職員数 （単位：人）

	正職員・准職員		臨時職員		合 計
	男性	女性	男性	女性	
一般 職員	117	111	43	115	386
営農指導員	39	0	0	0	39
生活指導員	2	5	0	1	8
合 計	158	116	43	116	433



JA庄内たがわが行っている事業の概況

■信用事業＜銀行のように資金をサポートする＞

JAでは、銀行のように農家から貯金を受け入れ、融資をしています。JAは農家がビニールハウスを建てたり、トラクターやコンバインなどの農業機械を買うときの資金のサポーターです。農家（JAの正組合員）でない人も利用でき、「JAバンク」という愛称で呼ばれています。

※信用事業残高

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貯 金	110,808,829	110,065,166	110,999,646
預 金	68,081,177	65,943,045	65,252,977
貸 出 金	28,094,897	29,039,168	29,787,107
有価証券	5,737,290	6,245,230	5,908,040

■共済事業＜保険会社のように人・家・自動車を守る＞

JAでは、火事、地震などの災害や交通事故にあたり、大きな病気にかかったりしたときに困らないように、資金をプールしておき、困ったときに困った人が使える保険や年金のような仕組みがあります。この仕組みは農家（JAの正組合員）でない人も利用でき、「JA共済」という愛称で呼ばれています。

※長期共済保有高

（単位：千円）

	令和元年度
終 身 共 済	156,271,921
定期生命共済	1,453,600
養老生命共済	60,851,837
医 療 共 済	4,240,500
が ん 共 済	328,500
定期医療共済	512,100
介 護 共 済	1,369,787
年 金 共 済	13,000
建物更正共済	229,538,740
合 計	454,579,985



■生活福祉事業＜地域の人たちや高齢者の生活を手助けする＞

JAでは、地域に暮らす人たちが健康で幸せな生活ができるように、いろいろな活動を行っています。研修会やサークルなどを開いたり、健康に暮らすにはどうしたらいいか相談にのったりしています。平成27年4月から訪問介護事業、平成30年からは、通所介護事業に組み込み、安心して暮らせる地域社会を応援します。

■営農指導事業＜農産物づくりの相談にのる＞

おいしくて安全な「農産物の作り方」や「家畜の育て方」などについて相談にのっています。そのためＪＡには営農指導員がいて、地域の農家の相談相手や農業の技術指導の役割を担っています。例えば、米や野菜作りでは１年間の農作業の計画を立てて、どんな土づくりをして、どんな品種をいつ植えたらいいか、水はどれくらいやるのか、病害虫の被害を受けないようにするにはどうしたらいいのかなどを一緒に考えています。



■販売事業＜農家から集めた農産物を売る＞

米や野菜、肉などの農産物を地域の農家から集めて販売しています。まとめて市場に出荷したり、食品量販店や食品加工会社などにも販売したりしています。最近では消費者に直接販売する割合が増えてきました。また、ＪＡ庄内たがわが運営する初の産直施設「んめ農マルシェ」がＨ30年７月３０日、鶴岡市にある庄内おばこの里こまぎ館内にオープンしました。会員である生産者が出荷した地元の特産品をはじめ、野菜・果実・庄内米・農産加工品など新鮮な農産物がずらりと並び、買い物客でにぎわっています。

※受託販売品取扱高

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
米 穀	10,869,037	11,059,059	10,017,695
園芸特産	1,700,323	1,610,486	1,674,232
うち果実	604,832	610,800	706,580
うち野菜	493,252	443,660	445,246
うち花卉	313,662	290,493	284,959
畜 産	1,136,244	1,047,564	981,352
産直店舗	—	28,944	39,636
合 計	13,705,605	13,746,053	12,712,915

■購買事業＜必要なモノを農家の代わりにまとめて買う＞

農作業に必要な肥料や農薬などの資材や農機具、薬などの生活用品などを、農家の代わりにまとめて購入してから、各農家に販売しています。地域でとれた農産物やガソリン、灯油、ガスも販売しています。まとめて購入することで、農家に必要なモノをより安く提供することができます。

※購買品供給高

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生産資材	3,504,172	3,463,821	3,483,862
農 機 具	平成26年10月 (株)あいとサービス設立		
自 動 車			
給 油			
L P G			
生活資材	380,879	376,775	347,424
合 計	3,885,052	3,840,597	3,831,286

これからも…ずっと…



シンボルマーク



基本理念

私たち JA 庄内たがわは、地域の人と共に「豊かな農^{みのり}」「豊かな生活^{くらし}」「豊かな大地^{つち}」を実現するため、つねに期待と信頼に応える新たな JA をめざします。

経営指針

1. 自然との共生を図り、安全な農産物を提供します。
2. 地域農業の活性化と魅力ある農業経営を追求します。
3. 地域・利用者からの「声」を大切にし、満足度の高いサービスを提供します。
4. 夢を描き、未来を担う人づくりをすすめます。
5. 公正で誠実な事業を展開し、組織改革を行い、経営を健全化します。

事業指針

みのり Ⅰ. 豊かな農

みのり
夢ある農を創造し、人と地域の活性化を実現します。

1. 営業力の強化と生産コストの低減に取り組み、農業者の所得を増大させます。
2. 新たな担い手の育成と地域の担い手を支援します。
3. 新たな強い営農基盤を築き、地域農業を発展させます。

くらし Ⅱ. 豊かな生活

くらし
地域の営農と生活を支え、安心で豊かな地域社会の実現に貢献します。

1. 地域に根ざしたふれあい活動を通じ、心豊かな暮らしを提供します。
2. 組合員・利用者目線に立ち、地域のくらしをトータルサポートします。
3. ゆとりと生きがいのあるくらしを提供します。

つち Ⅲ. 豊かな大地

総合力を発揮し、人と地域に寄り添う「JA 庄内たがわ」を実現します。

1. 総合農協の機能を最大限発揮し、利用者満足度の向上を図ります。
2. JAを地域の拠り所とし、組合員との繋がりを深め、組織基盤を拡充します。
3. みのり くらし 農と生活の実現のため、経営基盤を強化します。

行 動 指 針

1. 私たちは、明るい笑顔と心のこもったあいさつから始めます。

笑顔は、相手に親しみやすさを感じさせます。
あいさつは、コミュニケーションをとる上で重要なことです。
私たちは、この2つを常に心がけ全ての仕事に取り組みます。

2. 私たちは、「一人ひとりがJAの顔」という意識を持ち、誠実で責任ある行動をします。

利用者からみれば、JA職員の一人ひとりがJAの顔です。
そのことを自覚し誠実で責任ある行動をします。

3. 私たちは、社会の一員として地域の活動に参画し、ともに発展をめざします。

JA庄内たがわの役職員は、地域社会の一員として、地域活動に積極的に参画し
地域の人たちとともに発展をめざします。

4. 私たちは、仕事の質を高めるため、自己研鑽に努めます。

常に向上心をもって自己研鑽につとめ、仕事の質を高めます。

5. 私たちは、知恵を出し汗を流し、活力ある職場をつくります。

職場内ではチームワークを大切にしながら、お互いに知恵を出し合い、汗を流し、
連携のとれた活力ある職場をつくります。

MEMO

庄内たがわ農業協同組合

〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

TEL 0235-64-3000（代表）

FAX 0235-64-5742

HP <http://www.ja-shonai.or.jp>
